

歴

史資料館だより



No.93
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111代表)

真壁氏に送られた3月の手紙

3月号の今回は、今から420年前の3月に書かれた手紙を紹介します。

徳川家康にとつて、対立する石田三成と関係が深く、関ヶ原の合戦への態度が不明確だった佐竹義宣の処分は、重要な課題の1つでした。

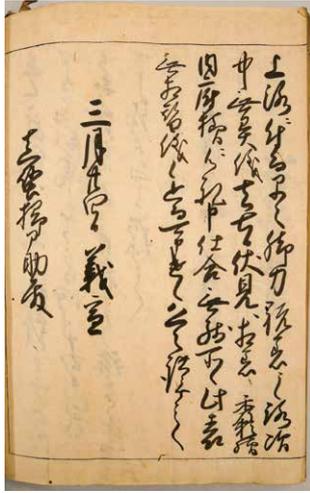
合戦から2年後の慶長7年(1602年)遂に義宣が家康に呼び出され上京することになりました。

義宣の指揮下にあった真壁重幹はすぐに義宣に見舞いの手紙を送り、その返事が真壁

城に届きます。

「早々に飛脚をよこされ、満足である。道中も無事に去る7日に伏見へ着いた。豊臣秀頼様と徳川家康様に御礼を申し、全て済ませたが、特に変わったことはない」

しかし在京中の5月上旬、義宣は出羽(秋田県)へ大名の力を弱めることなどを目的に領地を移動させる「国替え」を命じられ、重幹はすぐに手紙を送り、返事も届きます。その後、義宣に従い重幹も出羽角館へ移りました。

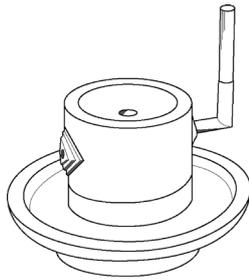


佐竹義宣から真壁重幹へ送られた手紙

庭園跡から

茶臼が出土

真壁城跡の発掘調査で新たに見つかった出土品の茶臼を紹介します。



茶臼のイメージ図

調査で見つかったのは、茶臼の下の破片で、大きさは直径30cm程で、成人の手のひらより少し大きいサイズです。この茶臼は、挽いた抹茶を受ける部分が一体となっているのが特徴です。茶葉を挽く円形の部分はツルツルとして、すり目が消えそうなほど摩耗しています。



出土した茶臼の破片

通常、石臼には御影石が使われることが多いのですが、この茶臼には赤みがあります。そのため、産地を特定できる可能性もあり、今後、さらに詳しい調査を行う予定です。

また、庭園内では茶室と考えられる建物の跡が見つっています。そのことから、この茶臼で挽かれた抹茶が城内で飲まれていたと考えられます。

真壁伝承館歴史資料館では、この茶臼のほか今年度の調査で出土した遺物の速報展示を開催しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で閉館や入場制限の可能性もあるため、あらかじめホームページなどで確認のうえ、ご来館ください。

あなたの側で、誠実に、忠実に。

digital
Digital Print Co., Ltd.

ISO/IEC 27001 CERTIFIED
ISA ISMS-RC ISMS 13001

株式会社 デジタル印刷
事務所・工場 ☎0296-54-2626
つくば事務所 ☎029-877-1331
URL <https://digi-pri.com>

ISO・Pマーク認証取得までお手伝いします。

入所・短期入所・通所リハビリテーション
介護老人保健施設・居宅介護支援事業所

さくらがわ
☎0296-20-6071
URL: <http://www.douaikai.or.jp>

延島クリニック
☎0296-58-5058

職員募集
明るく元気な方、募集中!

見学
随時OKです!